

令和8年10月18日執行

一宮町議会議員一般選挙公報

一宮町選挙管理委員会

ごあいさつ
一宮町は現在、人口が維持されていますが、日本全体で人口減少が進む中、将来的には本町も人口減少という課題に直面することが想定されます。
だからこそ、関係人口や移住・定住の促進、観光や農業を中心とした産業の活性化など、町の活力を高める取り組みが重要だと考えています。
育てていただいた一宮町に恩返しをし、町民の皆さんが豊かに安心して暮らせる町、子どもや孫の世代につながる未来ある一宮町を目指して、引き続き活動してまいります。
よろしくお願いたします。

プロフィール
●昭和57年(1982年)一宮町生まれ
●一宮小、一宮中、長生高校卒業
●東洋大学卒業、東洋大学大学院修了
●会社員を経て、観光関連会社設立
●全国通訳案内士(英語)
●一宮町議会議員(1期目)
●一宮町観光協会副会長
●一宮スポーツ協会理事
●家族は妻と子ども3人

うさみ信幸
公式ホームページ
<https://usami.website/>

町民の皆さんが安心して豊かに暮らせる町

未来へつなぐ一宮町を目指して!!

1. 産業の活性化

町の将来的な人口減少を見据え、主要産業である観光や農業を活かし、地域の中で経済が循環する仕組みづくりに取り組みます。

特に、ふるさと納税のさらなる拡大を提案し、町の財源確保と地域産業の活性化につなげます。

また、玉前神社周辺や商店街の活性化を働きかけ、まち全体に新たなにぎわいを生み出すことを目指します。

2. 子育て・教育支援

児童館機能の整備と図書館機能の充実を提案します。デジタル情報も活用できる、新しい時代に対応した学びの環境づくりを目指します。

また、子どもたちが将来、世界へと大きく羽ばたいていけるよう、国際感覚を育む町独自の教育の導入を働きかけ、子どもたちの可能性を広げます。

3. 防災と安心・安全のまちづくり

側溝・排水路の整備・改修など、道路冠水への重点的な対策を働きかけます。

また、防災井戸の地域への整備や停電に強い避難所づくりを提案し、すべての公共事業に防災の視点を取り入れることで、災害に強いまちづくりを進めます。

4. 安心の外泊サポート

高齢者をはじめ、車を運転しない方や移動に不安を抱える方が、安心して外出できる交通環境の整備を進めます。現在の助成制度について、対象者や利用範囲などの拡充を図り、通院や買い物、日常生活における移動を支えます。

さらに、より多くの方が気軽に利用できる新たな交通サービスについても検討します。年齢や生活環境にかかわらず、誰もが移動しやすく、外出や交流の機会を持てるまちづくりを目指します。



うさみ信幸

44歳

福祉政策を重視した議員活動を進めていきます

行政への提案

1 行財政への提案

自治基本条例(まちづくり条例)の提案

住民が主役となり、行政と地域がともにまちづくりを進められる自治基本条例(まちづくり条例)の制定を提案していきます。

- 町財政のムダ使いをなくす
努力を町行政とともに考えます。
- 空き家対策を
行政へ提案していきます。

2 子育て支援への提案

— 児童福祉を考えて —

- 子どもたちが安心して成長でき、子育て家庭が安心して暮らせるまちをめざします。
- 病児保育の確保
病児保育の確保を町当局とともに考えます。
- 学童保育クラブの運営場所の改革
子どもたちが安全で安心して過ごせるよう、学童保育クラブの運営場所の改革を提案します。
- ファミリー・サポートセンター事業
子育てを地域で支え合うファミリー・サポートセンター事業を提案します。

3 高齢者支援への提案

— 安心して暮らせる地域づくりを —

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域で支え合う仕組みづくりを進めます。

- 一人暮らし高齢者への支援
孤独死を防ぐため、地域での見守りや安否確認の見守りシステム対策に努力します。
- 福祉タクシーの利用範囲拡大
福祉タクシーの利用範囲の拡大を提案していきます。
- 高齢者の地域交流場所の設置
高齢者が気軽に集い、交流できる場所の設置を進めます。

4 障がい者支援への提案

— 誰もが安心して暮らせる地域づくりを —

- 障がいのある方もない方も、地域の中で安心して自分らしく暮らせるまちをめざします。
- ノーマライゼーションの理念に基づく福祉サービス
バリアフリー等の福祉サービスについて、行政とともに考え、行動します。
- 障がい者の自立支援
障がいのある方が地域で自分らしい生活を送ることができるよう、自立支援に取り組みます。
- 障がい者雇用の促進
障がい者雇用の促進について、行政とともに考えます。



はかまた忍



教職 38 年 4つの柱

参画と協働

教育

元県立高校教諭。底辺高や統合問題も経験。学校の本質は「学びあう喜び」にあると確信。発達と自立を応援しあう町に。

福祉

手話と出会って50年、一宮手話サークル20年。障がいのある人もない人も、誰でも笑顔で対等に暮らせる町に。

まちづくり

一宮商業高で、地域交流推進活動に取り組む。「広場」に、出会いと交流の原点があると再確認。人が集い、にぎわいのある町に。

防災

大震災のボランティアも体験。専門の地学分野の科学的な視点を活かしたい。町に、防災第一で、快適に暮らせる長期計画を。

一宮手話サークル会長、自然栽培農産物の直売所代表
郷土史研究会、地曳網保存会、一宮町文化協会

一宮保育園・一宮小・一宮中・長生高(理数科)・千葉大(理学部地学科) 卒

みんなの声と力で
町を元気に



林カズオ

くらしUP! 戦争NO!

ため込み金16億円いかして、くらし支えます 重点公約

国・県にも支援を求めて
国保税・介護保険料
後期高齢
者医療
保険料の軽減

防災対策
津緊急避難施設の増設
災害関連死ゼロめざし

新にここにサービス
もっと充実・もっと便利に!

私は、反戦平和をつらぬいて一〇四年の日本共産党の一員として、憲法を守り、町政に生かし、町民一人ひとりが大切にされる一宮町をめざして、ひき続き全力でがんばる決意です。

プロフィール 1953年一宮町生まれ。茂原農業高校卒。1978年町議初当選。現在町議(通算11期目)。趣味:読書、釣り。自宅:一宮町東浪見2732 電話・ファックス 42-3372

一宮から共産党の躍進で高市政権に審判を!



日本共産党

あきば博敏

農業の発展を全力で応援します

- 環境にやさしい有機肥料化への推進
- 地産地消による学校給食の実現
- 農作物の販促路拡大に向けた宣伝の強化
- 農業の再活性化と農地問題の解決
- 新規就農者の確保・後継者の育成
- 農作物直売所と観光案内所、緊急時の避難所としての役割も果たす「道の駅」を設立

大好きな一宮町を、
もっと「元気」にしたい!

これまで地域の皆さまの声を行政に届けるため、議員活動に取り組んでまいりました。変化する環境の中、安心・安全を守るとともに、食と農を通じて未来の子ども達を育み、子どもから高齢者まで、誰もが笑顔で暮らし続けたいと思える町づくりに、経験を生かして努めてまいります。



皆さまと一緒に、よりよい町づくりを目指します!

子育て環境づくり

●食物アレルギー対応給食の実現

高齢化対策

●介護施設や医療機関を充実させ、介護家族者の負担を軽減

議会・改革推進

●業務のペーパーレス化促進と若手職員の勤務環境改善

時代の変化と共に
町を動かす。
変える!



かわしろ茂樹

共に創ろう いちのみや

ごあいさつ

私を御支援、お力添えくださった皆様にお礼を申し上げます。このたびの町議会議員の改選にあたり、ふたたび町政の場において、ふるさと一宮町の限りの前進のため、持てる情熱の全てを傾け活動して参る所存です。私たちの生まれたふるさと、(一宮町)の地域づくりに挑戦し、ふるさと一宮町の限りの前進のため、いっその奮起をもって持てる情熱の全てを傾け活動して参ります。安らぎ、幸せ、発展、潤い、創造を5つの柱に、(一宮町)を愛する皆で力を合わせ、心通い合う元気で豊かなふるさとを創造しましょう。

1 安らぎ 安心

- 消防・防災・交通安全
- 防災力の強化
- 南消防署の建設
- 交通安全施設の設備

2 幸せ 幸福

- 福祉・健康
- お年寄り、身障者にやさしいまちづくり
- 町民の健康づくり

3 潤い 未来

- 都市基盤整備・生活環境整備
- 避難道路交通網の整備
- グリーンライン早期実現

4 発展 成長

- 農業・商業・工業
- 農産物、ブランド化応援します
- にぎわいを取り戻す
- 元気なまちづくり

5 創造 学び

- 学校教育
- 教育環境の充実
- 子ども・子育て支援



小林まさみつ

令和8年10月18日執行

一宮町議会議員一般選挙公報

一宮町選挙管理委員会

みんなの声を、一宮町議会に届けよう！

高齢者福祉も、環境保全も、民泊問題も——一宮町の課題は、もう何年も前からあきらかです。それでも対策が後手に回り続けているのは行政と議会の動きが現場の実情においていないからだと感じています。
このままでは、この町の暮らしはよくなりません。現場の声を形にし、一宮町議会に届けます。その一歩を、私から踏み出します。

高齢者が豊かで楽しく健康的な生活をおくれる一宮町にしたい

自宅から外へでて、色々な人とつながろう

「民泊」問題、住民の生活を守る一宮町にしたい

こまりごとは、一人で抱え込まずに声をあげよう

AIやIT技術を活用し行政サービスの効率化を目指したい

使いやすい役場、働きやすい役場を一緒に考えよう

防災・災害対策、安全、安心して暮らせる一宮町にしたい

「もしも」への備えを、みんなで考えよう

里山があり、海がある一宮町の自然を守りたい

一人ひとりでできることを考えよう



川上
たか子



無所属

鵜沢
きよひさ

生まれ育ったこの一宮町に少しでもお役に立てればと思います。
町議会議員五期目へ立候補する決意をさせていただきました。

私が掲げる四つの柱

1 みんなで参加する身近な町政の実現

2 気候・風土に適した地場産業の確立と振興

3 伝統文化と新しい文化の架け橋

4 個性を大切にする子育て環境の充実

この四つの柱の実現に向け努力させて頂ければと思います。

私の愛する一宮町をみなさんが自慢できる街へ

渾身の力を尽くす決意をいたしました。

どうぞ皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

みんなの想いをみんなと共に！

● 命を守る防災対策

現在は海側から山側に直線的にアクセスできる道路が少ない状況です。災害時に高台に避難できる東西をつなぐ道路の計画的整備をみなさまと共に提案していきます。

● 安心できる生活基盤

排水路の整備が遅れていて、慢性的な水害が発生する可能性のある地域について、排水路の計画的整備の推進をみなさまと共に提案していきます。

● 未来につながる学びの環境

AI時代を見据えた教育環境。子どもも大人も、一宮の固有の自然環境で学べる教育プログラムづくりなどをみなさまと共に提案していきます。

● レガシー活用での経済活性化

歴史と伝統の玉前神社地区と、近年サーフィンの聖地などといわれる海岸地区、それぞれのレガシーを活用・連携した関係人口増加策などをみなさまと共に提案していきます。

● 持続可能なこれからの農業

AIや自動化技術の導入・利用継続策などの効率性や地域環境に合う独自性を考え、農地の集約化など、これからの農業のあり方について、みなさまと共に提案していきます。

これらの実行のため、SDGsの考えを取入れつつ、積極的な国・県補助金の活用を提案します。



小関
よしあき

田中里奈 profile

生年月日：昭和61年10月9日生
看護師、英語保育園施設管理者
3児の母
趣味：サーフィン

(経歴)

- 金剛高校 卒業
- PL学園衛生看護専門学校 卒業
- 看護師として16年間勤務
(透析看護に従事し、主任を経験後退職)
- 英語保育園を起業・運営
(International Kids school Line)

まずは、やってみる。

女性の視点を活かし、
気づきを行動に変えていく。

私がまず取り組みたい3つのこと

01 子どもの体験と学びの選択肢を増やす

多様な学びと国際的な活動、豊かな体験の機会をつくれます。

02 子育て家庭が安心して頼れる環境を

仕事・通院・用事など、子育てと暮らしを支える仕組みを整えます。

03 女性の経済的自立を支える

再就職・資格取得・起業など、女性のチャレンジを応援します。

安心して暮らせるまちへ 看護師として

看護師としての経験を活かし、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせる一宮町を目指します。

私の想い

看護師として働き、母として教育や経営の現場に立つ中で、子ども・子育て・女性を取り巻く課題を感じてきました。だからこそ、まずはこの3つから取り組みたいと考えています。町のみなさんの声を聞き、一緒に考えながら、できることから一歩ずつ動いていきます。まずは、やってみる。女性の視点を活かし、気づきを行動に変えていく、この町で暮らしてよかったと思える一宮町を、みなさんと一緒につくっていきたくです。



田中
りな

一宮町の未来を考え

政策提案

『どうすればできるか』を考え
前進・実現へ。

経験×行動力
一宮町の未来を支える
37歳

未来を支える、私の4つの強み＝「経験を活かす」

1 PTA会長(現職)としての経験

● 教育環境、通学環境など
子育て支援を充実させます。

2 一宮町出身者初 茂原青年会議所理事長(現職)としての経験

● 議員定数をはじめ、行政議会のあり方を見直します。

3 まちとインフラを知る 一級建築士としての経験

● 避難体制、道路、排水、公共施設を総合的に検証し提案します。

4 長生郡最年少議員として培った経験

● 子どもから高齢者まで、身近な困りごとに向き合います。

これまでの活動をまとめた『活動ニュース』



これからの一宮町へ。守る。育てる。変えていく。



篠瀬
ひろき

一宮で暮らして、気づいたこと。

波に惹かれて一宮に移り住み、この町で暮らしてみると、海と人のあたたかさ、すっかり惹き込んでいます。その一方で、暮らしの中にはまだまだ気になることもあります。私自身、ケガをして移動に困った経験もあります。

この町で、これからも安心して暮らせるように、暮らしの中の小さな気づきを町政につなげたい。何でも新しく作ればいいとは思っていません。今あるものを活かす。それでも足りないものを見つける。必要なら小さく試しながら、一つずつ取り組んでいきます。

① 移動・通学路・夜道

歩道がなく、すぐ横を車が通る道。夜になると暗く、歩くのが不安な道。私自身、ケガをして移動に困った経験があります。「夜道が暗くて、歩くのが怖い」「塾帰りの娘を、暗い駅からの道が心配で迎えに行っている」という声も聞きました。まず、自分の目で現状を見る。今ある交通や道路環境を確認し、通学路や夜道に危険な場所がないか、一つずつ確認していきたく。



② 海と暮らし

昔からの住民も、移住者も、訪れる人も、心地よく過ごせる町にしたい。サーフィンで賑わうこの海を、これからも大切に守っていく。海岸の保全や環境対策、観光と暮らしのバランスなど、暮らしの中の困りごとにも、丁寧に向き合っていきます。



③ 防災(ペット同行避難含む)

今年8月の千葉県豪雨では、県内でも大雨による被害が発生し、改めて日頃からの備えの大切さを実感しました。災害時に、誰もが安心して避難できる体制について、現状を確認し、地域の声を聞きながら、ペットと一緒に避難できる環境も含めて、一つずつ検討していきます。



大塚
翔太

令和8年10月18日執行

一宮町議会議員一般選挙公報

一宮町選挙管理委員会

防災環境の充実

九十九里海岸に面した一宮町は、地震や津波への対応は急務です。海岸浸食も進んでいます。県や国へ強く働きかけ、安心して暮らせる環境づくりを進めます。



教育環境の充実

一宮町の未来を担う子どもたち一人ひとりが、全員安心して楽しく教育を受けることが出来るよう、教育環境の充実に向け、積極的に活動していきます。



希望の持てる
一宮町の実現に全力で
取り組んで参ります。

商店街の活性化

玉前神社を重要な観光施設として、歴史と未来が融合するよう市街地域の空き店舗対策や駐車場整備などを進めます。



内山くにとし プロフィール

昭和32年3月 一宮町東浪見に生まれる
昭和45年3月 東浪見小学校卒業
昭和48年3月 一宮中学校卒業
昭和50年3月 長南高等学校卒業
平成 8年 一宮中学校部活動後援会長
平成13年 一宮中学校PTA会長
平成15年 一宮中学校部活動後援会長
現 在 有限会社内山住設 取締役
長生都市官工事協同組合理事



内山くにとし

持続可能な一宮町を目指して

■ 多彩で魅力ある産業振興

オリンピック以降、定住人口や交流人口も増加傾向にあります。農業、観光業、商業など多彩で魅力ある産業振興で町の活性化を図ります。

■ 教育環境の充実

まちづくりはひとづくりから。未来を担う子どもたちが、楽しく積極的に学習に取り組める教育環境の充実、整備に努めます。

■ 少子高齢化対策の充実

全世代の人々が生き生きと安心して暮らせるよう、子育て・医療・介護など各分野において強化を図り、住み続けたい一宮町を目指します。

■ 生活環境の整備

近年は大規模災害や犯罪が多発しています。住民の生命と財産を守るため、安心して安全に暮らせるまちづくりに努めます。



森 佐衛

町は「稼ぐ！」自主財源が必須！！

一宮町は、合併を中止させました。国の交付税が減らされました。『いつまでも、あると思う国金の精神で「稼ぐ自主財源」が必須な町なんです。』
町政と『見解の相違』で施策が遅れています。何をやるにも財源が必須です。
『石の上にも三年』とありますが『見解の前にも三期』があると確信し財源の裏付けのある施策をさせます。みなさまのご支援ご協力を切にお願い致します。



おおはし 照雄

まちづくりはみんなで！

小さな自治体の限られた予算の中では、住民の皆様との「官民協同」が必要不可欠です。「できない」ではなく、「どうしたらできるのか」を、これからも皆様と一緒に考えていきます。

〈〈現職として任期中に取り組んできたこと〉〉

- ① 定期的な意見交換会の開催と情報発信→インスタや座談会の開催
- ② 小中学校の給食費無償化→実現！
- ③ 在宅育児支援、保育所・こども園の整備
・R4・12月議会一般質問「ファミサポ導入を強く求める」
・R5・6月議会一般質問「産後ケアの拡充を」→利用条件緩和など、予算増額！
- ④ 学校教育の拡充
・R5・3月議会一般質問「着衣水泳の継続を」→実施！
・R5・9月議会一般質問「エアコン等教育環境の整備を」→小中学校体育館のエアコン設置決定！
・R6・6月議会一般質問「学童保育の課題」→民営化により待機児童0！
・R6・9月議会一般質問「こども議会復活を」→実施！
- ⑤ 当事者の心に寄り添う福祉サービス・家族へのサポート→国保、介護の協議会に参画
- ⑥ 高齢者の外出支援、健康寿命の延伸→新にここタクシーの拡充、福祉タクシーの利用条件緩和！

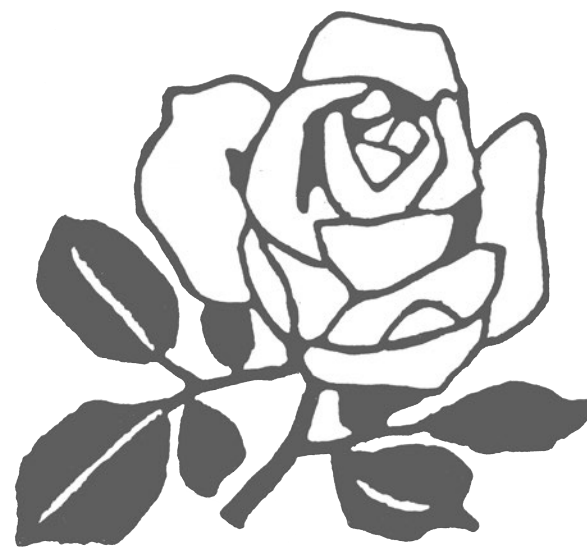
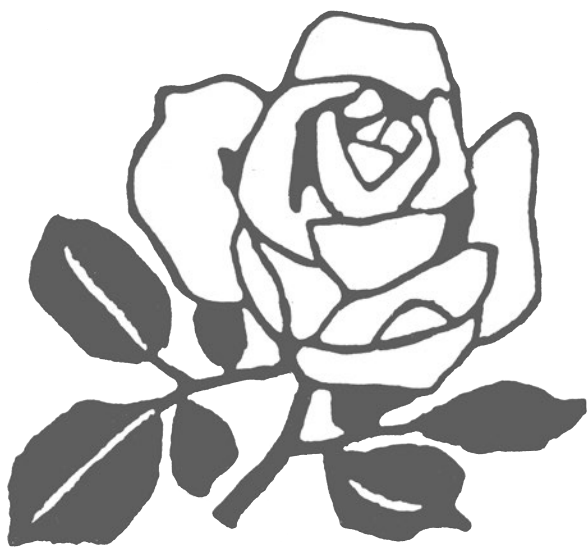
藤井幸恵プロフィール
1971年生（55才）長野県松本市出身
国際観光専門学校国際ホテル学科卒業
商船三井客船株式会社の客船乗務員として勤務
2007年一宮に移住（4世代6人家族：当時）
2009年138子育てネットワークを立ち上げ
「子育てしやすいまちづくり」に貢献できるような活動中
コロナ禍で、実母の在宅介護と看取りを経験



@YUKIE_FUJII



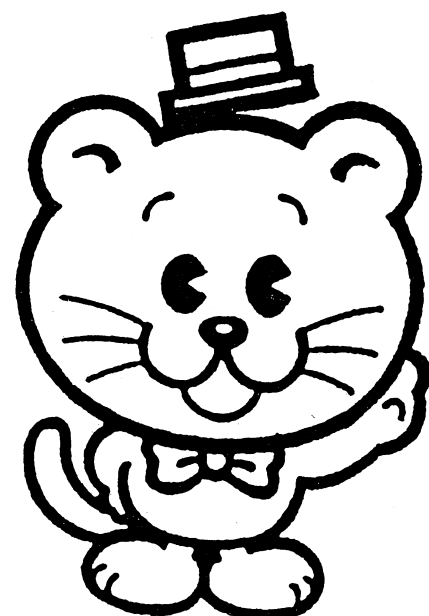
ふじい ゆきえ



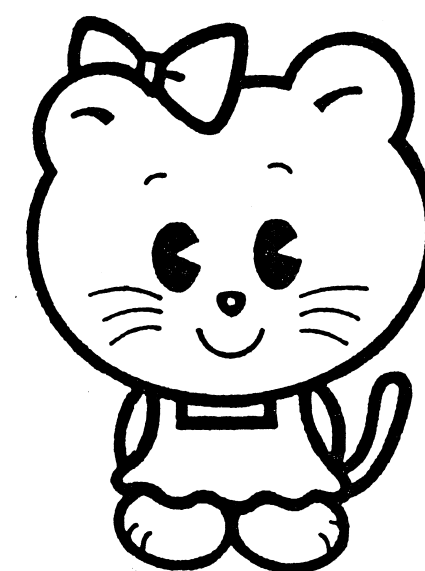
令和8年10月18日執行

一宮町議会議員一般選挙公報

一宮町選挙管理委員会



投票日



10月18日

午前7時から午後8時まで

ご注意

- ◎投票できる方は選挙人名簿に登録されており、かつ選挙の当日一宮町に居住する人です。
- ◎投票所には入場券を、お忘れなくご持参ください。

みんなそろって 投票しましょう!!